

来たれ! 男のまなび舎

落合市民センターは利用サークルのほとんどが女性を中心とした団体で、講座の参加者も女性が多く、男性の利用者が少ないのが現状であり、男性の地域社会への進出が大きな課題となっております。そこで、男性が気軽に参加できる学びを通じた地域交流の場を提供し、男性の地域社会進出のきっかけとする事を目的に、令和元年11月から令和2年2月まで全5回開催しました！

第1回 講話「はじめての料理」 調理「おにぎりと豚汁を作ろう！」

11月23日(土) 10:00~12:00

講師 フードコーディネーター 中島 薫 先生

開講式を終え緊張した面持ちの中、中島先生による「はじめての料理」の講話で男のまなび舎がスタートしました。

受講生のみなさんは料理初心者の方が多く、お米を炊くのも研ぐのも初めて！おっかなびっくりの様子で包丁を持ち、お互いに助け合いながら調理を進めていきます。

出来上がったおにぎり
と豚汁に大満足し、実食
の際は談笑を交えながら
和やかな雰囲気の中で
初めての調理を終えました。



第2回 調理「ナポリタンに挑戦」

12月14日(土) 10:00~12:30

講師 フードコーディネーター 中島 薫 先生

引き続き中島先生を講師にお呼びし、調理実習を行いました。メニューはナポリタン、生野菜サラダ、貝だくさんスープの3つです。

前回の調理を活かし、野菜の切り方や火の通し方を復習しながら進めていきます。「半月切りってなんだっけ」「パスタを茹でる時は蓋はするの？」等、先生のアドバイスを受けながら試行錯誤を重ねて料理を3品作りしました。



料理が完成すると受講生が自主的にグループを作り、机をくっつけて親睦を深めながらナポリタンを食べる様子が印象的でした。

第3回 館外学習「陶芸体験」

1月12日(日) 10:40~12:00

会場 愛子やき楽遊窯 陶芸教室楽遊くらぶ 講師 佐々木 義昭 先生

初の館外学習は高野原団地入口にある「楽遊くらぶ」さんに向かい、電動ろくろを使った陶芸体験に挑戦しました。

落合市民センターに集合し、受講生同士で車に分乗してもらい会場に向かいました。お皿、茶碗、湯呑から好きな形を選び、先生の個別指導の元ろくろの前に座る受講生の顔は真剣そのもの。やわらかい土に慎重に指をあてて、器を広げたり、底を深くしたり、世界に一つ自分だけの陶芸品作りに皆さん夢中でした。焼き上がりは3月ということで楽しみです。



第4回 話し合い「第5回の開催内容を検討しましょう」

2月1日(土) 10:00~11:30

第4回目は次回の講座内容を受講生が検討し、決定しました。調理や工場見学等の意見が出され、こけしの絵付け体験に決定しました。



第5回 実技「こけしの絵付け体験」

講師 平賀こけし店 工人 平賀 輝幸 先生

2月22日(土) 10:00~11:30

第4回の内容検討により、最終回はこけしの絵付け体験になりました。講師に内閣総理大臣賞を受賞された平賀こけし店の工人、平賀先生をお呼びしこけしの絵付けを行いました。

宮城県にはいくつかの種類のこけしがあり、今回は平賀先生のお店がある「作並こけし」の絵付けを教わりました。先生が模造紙にこけしの顔を描くと、受講生は真剣に眺めながら練習用の紙コップに真似て描き写し、何度も下絵を描いてから本番に挑んでいました。

こけしが出来上がると席を立って受講生同士で完成品を見せ合い、全5回の講座で親睦が深まった様子が見られました。



受講生からの感想

- 毎日楽しかったです。ありがとうございました
- 各回何かを作ったり、周りの人と話したのが大変楽しかった！
- 地元の工場や施設見学、楽しい経験でした。感謝です！
- 全5回すべて楽しかった。今後は料理関係も多くしてほしい。
- 何事も経験が必要であると感じました。楽しい時間を過ごすことが出来ました。
- 初体験の講座が殆どで勉強になった。
- ていねいな説明を頂き分かりやすかった。
- 初めての作業は楽しく、面白かった

効果と課題

受講生の募集が大変でしたが、窓口から直接声を掛けたり、回覧板やポスターを見て初めて市民センターに来た方など、多くの男性に参加して頂けました。

初めは硬い表情だった受講生も、回を重ねる毎にお互いの距離が縮まり会話や交流が増え、講座のねらいであった「男性の地域社会進出のきっかけ」づくりに貢献出来ました。

受講生の中には町内会や地域の社会福祉施設に所属する男性も多く、講座をきっかけに顔の見える関係が作れた様子も見られ、今後は更なる地域社会進出を目指せるよう次年度開催につなげていきたいと思っております。